

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 6年 2月 10日

事業所名 ポラリス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点、など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・1階を地域の支援クラスの児童、2階を串木野特別支援学校の高等部生に分けて支援している。(床面積は足りている。) ・1階に女子更衣室がないので、共用を検討していく。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		・人員配置基準は満たしているが、1階と2階に利用者を分けたことで連携が取りにくい。児発管も支援に入らざるを得ない。 ・現在、ハローワークに求人案内を出している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・2階への階段に手すりを着けたことで補助具(杖)使用の利用児も乗降がし易くなった。 ・今後も工夫しながら、利用児の状況に応じたバリアフリー化に努力していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・支援目標を定め、共通理解を深めながら事業所として取り組むこととする。 ・職員会議等で振り返りを行い、改善に努めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・アンケート調査に加え、保護者との面談を実施し直接意見を聞き取るようにしている。その中で改善点が見つかれば改善に努めるようにする。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページに自己評価表を公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・外部評価は現在任意であるが、速やかに外部評価制度を立ち上げていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		・年間計画に沿って各種研修に参加し専門性の向上を図っている。また、内部研修も系列事業所合同で開催した。 ただ、発達障害は多岐に亘るため、より専門性の高い研修を計画していく必要を感じる。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子どもの課題や保護者のニーズ等を聞き取りし、児童支援利用計画に基づき個別支援会議を実施し、個別支援計画を作成している。 令和6年からは5領域の総合支援型になるため、詳細なニーズの把握が必要になる。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・標準化されたものはないが、個々のアセスメントにより、不適応行動を把握し、その行動の背景を探りながら支援に結び付けるよう配慮している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・グループ別(支援クラスと支援学校)にチームで立案している。ただ、それぞれに課題が異なるため難しさもある。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・子どもたちの主体性を尊重し、やりたい活動のアンケートを実施し、内容を検討しながら活動に反映している。ただ、平日(放課後)は学習支援と外遊び(鬼ごっこ等)になっているので、活動の幅を広げる工夫が必要になる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・長期休暇は基本的な生活習慣を大切に、1日を楽しく過ごせるように、午前と午後の活動を工夫しながら取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子どもたちの課題に沿って、個別支援と集団支援を取り入れ作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・勤務体制、送迎の都合上実施できない場合もあるが、できるだけ確認するよう努めている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・保護者の迎えの時間や感染症対策の消毒等の関係で、就業時間を超過する場合は、後日記録を確認し気付きを共有するようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・毎日子どもたちの様子や支援内容について記録し、支援会議で検証し改善に努めている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・年2回のモニタリングに基づき、必要に応じて支援計画の見直しや変更を実施している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		基本活動にある、地域交流の機会の提供については実施できていないが、外遊びで地域の子どもたちと交流することはある。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・事業所内で事前に情報を共有し、児童発達支援管理責任者が出席している。将来の事業運営を考慮すれば、児童指導員も同席するように努めていきたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		・学校行事や、下校時間、当日の欠席等については、保護者からのメール等で確認し、トラブルが無いように努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		・現在対象となる子どもはいないが、受け入れる際には医療機関等との連絡体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		・必要に応じて相談支援事業所と連携し、移行支援会議を開催し、情報共有と支援内容について協議している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		・相談支援事業所、又は卒業後の就労事業所等から要望があれば事業所で蓄積した情報を適切に提供する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・専門機関からの直接の助言や研修は受けていないが、動画配信等で知識を得ることはできている。 また、保護者からの発達検査(WISC4)の説明書を参考にしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	・児童クラブや児童館はすぐ近くにあるが、感染症の心配もあり交流を控えている。保護者の意向も確認して検討していきたい。ただ、児童クラブの子どもたちはボラリスの利用児と同じ小学校に通っている仲間である。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		・自立支援協議会や子ども支援部会等も開催されできるだけ出席するようにしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・日々の活動について、迎える時保護者に口頭で伝え、詳細については連絡帳に記述するようにしている。 ・問題があれば、直接保護者と面談するようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	・必要性は感じるが、ペアレントトレーニングは実施したことがない。現在、日置市で人材の育成をしているので、機会があれば実施したい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・事業所見学の際もパンフレット等で説明し、契約の際は文書で説明し同意を得て契約している。 運営規定、重要事項説明書、契約書等は事業所内に掲示している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・保護者から相談があれば、相談窓口で受付し、各関係機関と連携しながら事業所の意見としてとりまとめ適切に対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・父母の会はない。保護者同士の連携という事では、家族単位で参加できる夏祭りや、ミニミニ運動会を実施した。今後も保護者の意向も確認しながら、気軽に話ができる場を提供していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・契約時点で、苦情に関する対応については保護者に説明している。ただ、気軽に相談しやすい雰囲気や関係性を築くことが最も重要だと考える。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・月に一回活動内容や写真を掲載したお便りを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		・個人情報及びその家族に関する情報等については、個別支援会議、担当者会議等において使用するが、事前に保護者の同意を得るものとしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・子どもたちとは会話で意思疎通を図り、保護者とも日々の会話で互いの情報を共有している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・自治会には加入しているが、地域住民を招待するまでには至っていない。今後、会報誌等で地域には情報を発信していきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・各マニュアルは策定しているが、保護者への周知が十分ではない。今後、保護者に分かりやすい方法で周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		・火災、地震、水害等に関する避難計画を策定し、定期的を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・県社会福祉士会主催の障害者虐待防止・権利擁護研修に参加し、事業所職員に内容を伝えるようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・現時点では、身体拘束を必要とする子どもがいないため、個別支援計画に記載することはないが、そのような事案が発生した場合は、相談支援事業所に担当者会議の開催を依頼し、保護者を交え対応を協議し、個別支援計画に記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・食物アレルギーについては契約時に聞き取り、必要な対応をとるようにしている。現時点では、アレルギー源を除いたおやつや給食を提供するようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・都度、ヒヤリハット記録簿に記録し、職員全員で情報を共有し、事故防止に努めている。